

科 目 名	地球環境科学					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	上 赤 博 文						
開 講 年 次	1 (心 理) 1・2 (リ ハ) 1～3 (子ども)	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択必修
授業の概要 及びねらい	2010年10月に名古屋で生物多様性に関する国際会議（COP 10）が開催された。生物多様性の保全は地球温暖化と並ぶ地球規模の2大環境問題と認識されている。地球、日本そして地域レベルで、具体的にどんな問題が生じているのか、どんな対策がとられているかを紹介し、我々に何ができるかを考える講義を行う。						
授 業 の 到 達 目 標	①生物の多様性を4つの視点から説明できる。 ②生物多様性の価値を生態系サービスの視点から理解し、人類の福祉に重要であることが理解できる。 ③種の絶滅が人類にもたらす損失を理解できる。 ④人間活動が生物多様性に及ぼす影響を指摘できる。 ⑤人間が手を入れないことも自然を荒廃させることが理解できる。 ⑥外来種問題も人間活動の結果であることが理解できる。 ⑦外来種が侵入するとなぜ在来生態系が影響を受けるかを説明できる。 ⑧農薬や環境ホルモン等の化学物質が生物や生態系にどんな影響を及ぼしているか説明できる。 ⑨生物多様性の保全には個人の意識が重要であることを指摘できる。 ⑩生物多様性を保全するために何ができるかを考え、行動することができる。						
学 習 方 法	講義、パワーポイント、プリント						
テキスト及び参考書等	学生や市民のための生物多様性読本 上赤博文著 南方新社						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○	◎	○	60		
小テスト等	◎		◎		30		
宿題・授業外レポート							
授業態度			○		5		
受講者の発表							
授業への参加度			○		5		
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	生物の多様性とは何かー4つの視点ー						
第 2 週	生物多様性の危機1：生物の歴史上、最速で進む種の絶滅						
第 3 週	生物多様性の危機2：開発と乱獲						
第 4 週	生物多様性の危機3：里地里山の荒廃						
第 5 週	生物多様性の危機4：外来種（1）						
第 6 週	生物多様性の危機5：外来種（2）						
第 7 週	生物多様性の危機6：化学物質						
第 8 週	生物多様性の危機7：地球温暖化						
第 9 週	保全への取組1：生物多様性国家戦略						
第 10 週	保全への取組2：国内法の整備						
第 11 週	保全への取組3：国家間の条約						
第 12 週	保全への取組4：レッドデータブック、ナショナルトラスト						
第 13 週	保全への取組5：自然再生、多自然川づくり						
第 14 週	保全への取組6：ビオトープ						
第 15 週	保全への取組7：2010年に名古屋で行われた国際会議ーCOP 10						
第 16 週	定期試験						
備 考	毎時間、授業の最後に5分間の確認テストを実施します。						